

第1回T I C A D V閣僚会合
特別セッション「女性・若者の能力強化」
岸田外務大臣基調演説

平成26年5月5日

各国閣僚の皆様並びに御列席の皆様,

1 冒頭

はじめに、T I C A D V閣僚会合の場で初めて、女性と若者の能力強化をテーマに特別セッションを開催でき、嬉しく思います。

アフリカにおいて、女性は生活を支える家計のマネージメントの主体と聞き及びます。若者は、未来のアフリカを担う主体です。女性と若者の能力強化はアフリカ社会の安定、産業の発展・高度化に直結します。

日本は、T I C A D Vや安倍総理のアフリカ訪問を通じ、一貫して「女性と若者一人ひとりに日本外交の機軸を合わせる」と訴えてきました。また、日本国内においても、安倍総理の下、若者と女性を成長の中心と位置づけ、能力強化を図っています。

2 女性の能力強化～「女性が輝く社会」に向けて～

御列席の皆様,

私は、A U委員会戦略計画2014-2017の中に、女性・若者参画の主流化を8つの優先分野の1つとして取り上げていることに着目しています。これを読み、私としても、アフリカにおける女性の能力強化のために重要な2つの視点を導き出しました。

第一に、女性の社会進出の推進と能力強化です。

農村から都市部に至るまで、女性は重要な労働力を提供しています。他方、農村では、女性は男性に比べて農業収益をあげるための技術研修や農業拡大のための融資が受けづらく、また、農作物の種類や収穫時期についての意思決定に十分に参画できていません。

こうした中、我が国は女性の農業経営への参画を確保し、女性を含む小規模農家の収入の増加を目指す支援を実施し、確実に成果をあげています。例えば、「農業・食糧栄養安全保障」の全体会合で江藤農水副大臣が紹介した「小規模園芸農民組織強化プロジェクト(SHEP)」をケニアで実施した結果、支援対象農家の収益が2倍となり、男女間の収益格差が約30%から15%に半減しました。

また、今日アフリカでは女性の起業家が目覚ましい活躍を見せています。しかし、女性は依然として市場や社会へのアクセスに制限があり、新たな経済機会を活用することが困難となっています。

このため、官民の間で女性起業家が抱える困難を共有し、改善する取組が必要です。日本は、女性起業家支援を行う行政官と、女性の能力強化を含めた先駆的な活動を実施している女性起業家を共にアフリカより招聘し、「アフリカ・女性起業家支援セミナー」を実施しました。今後もこうした取組を継続してまいります。

また、女性の活躍・社会進出が重要であることは我が国にとっても同じです。日本は、9月に女性が輝く社会に向けた国際シンポジウムを開催する予定です。アフリカの皆様にも参加いただきたいと思います。また、同シンポジウムの成果を、アフリカにおける女性支援につなげていきたいと思いをします。

第二に、平和と安全保障分野における女性の参画と保護を推進していくことです。

すなわち、女性を平和をもたらす主体として見ることです。紛争予防、紛争解決、平和構築のあらゆる段階での参画を確保し、紛争下の女性の権利侵害を防止し、保護する必要があります。

日本は、UN Women や紛争下の性的暴力に関する事務総長特別代表事務所との連携を強化しつつ、性的暴力の不処罰への対応や司法制度強化等に取り組んでいます。また、アフリカ主導中央アフリカ国際支援ミッション（M I S C A）の枠組での性的暴力対策支援等、アフリカの取組を後押ししていきます。

日本は、6月にロンドンで開催予定の「紛争下における性的暴力の終焉に向けたグローバル・サミット」にも積極的に参加・貢献していきます。

アフリカの女性が輝く時、アフリカは必ずや輝く。日本は、アフリカと共に、女性の能力強化に向けて全力で取り組んでまいります。

3 若者能力強化～「アフリカの若者に明るい未来を」～

御列席の皆様、

女性と同様、若者は成長と安定の重要な担い手です。一方で、若者の3人に2人が失業や低賃金の問題を抱えており、社会や政治の不安定化の一因となっています。

若者の失業の問題は、職を求める若者と雇用する側が求める能力のミスマッチに起因します。教育や研修の機会を十分に得られていないことがその原因です。

日本は、こうした問題の支援を着実に実施しています。T I C A D Vの際、産業人材育成センターを10か国で設置することを表明し、エチオピアに最初のセンター設置を決定しました。また、ビジネスの将来を担う若手1000人を日本に招聘し研修を提供するA B Eイニシアティブでは、2014年9月から約150名の受け入れを開始します。

アフリカの若者の明るい未来の先に、アフリカの明るい未来が開けます。日本は、アフリカのパートナーとして、共に歩んでまいります。

4 結語

御列席の皆様、

本日パネリストとして参加いただく瀬谷ルミ子日本紛争予防センター理事長は、市民社会の立場からソマリアやケニア等で、女性と若者に焦点をあて、平和構築事業に取り組んでおられます。瀬谷さんには、御自身の経験を元に議論を広げていただきたいと思います。本日のこの会議における議論が、アフリカにおける「女性が輝く社会」と「若者の明るい未来」の実現に向けた一里塚となることを期待します。

ありがとうございました。

(了)